

組み立て説明書

EU-590シリーズ

090727

はじめに

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お買い上げいただきました製品を正しくお使いしていただく為に、必ずはじめに「組み立て説明書」をよくお読みになりましてからご使用いただきますようお願いいたします。
また、本製品は生産より出荷にいたるまで厳重に検査を行っておりますが、万一、製品に破損または、ご使用に支障をきたす場合には、誠に恐縮ではございますが、ご購入店までお問い合わせください。

⚠ 安全上の注意

注 意

- 座面の上に立ったり、座面以外の部分に腰を掛けしないでください。
また、座面の前縁部や前後逆向きに座らないでください。ケガや破損の原因となります。
- イスの用途以外には使用しないでください。ケガや破損の原因となります。
- 回転部や可動部のすき間に手を入れないでください。ケガや故障の原因となります。
- 運搬に使用するなど、用途以外で使わないでください。転倒してケガをすることがあります。
- 万一、ご使用中に背もたれや座面がぐらついたり、異音が生じたら本体の破損やケガをすることがありますので、そのままの状態でご使用にならない様、お願いします。
- ◎ドライバーをご使用の際には、ネジの頭のサイズや形状にあったものをご使用ください。ネジの頭のサイズよりも小さいドライバーや異なる種類のドライバーを使用すると適切に組立てできない場合があります。

1、ご使用になる前に…

- 初めてご使用になる前には、必ず「組み立て説明書」を参考に全てのビス類やノブ、接続部分にゆるみがないかもう一度確認してください。
- 直射日光のあたる場所でのご使用は避けてください。変色や変形の原因となります。
- 製品は必ず屋内でのご使用とし、屋外でのご使用はお避けください。サビや変色・変形の原因となります。
- ストーブ等の火器のそばに近づけて使用しないでください。布地等に引火して火災になる恐れがあります。
- 分解しないでください。故障やケガの原因になります。特にガスシリンダーを分解すると暴発する恐れがあります。

2、組み立てる前に…

- 組み立てる前には、必ず「組み立て説明書」に記載されている『部品表』と梱包されている内容をご確認の上、始めてください。万一、部品が不足している場合には、ご購入店までご連絡ください。
- 組み立てるときには、必ず「組み立て方」をよく読んでから、組み立ててください。
- 各ビス類は最後に必ず増し締めをして下さい。締め付けがゆるんでいると転倒、落下、破損等により思わぬケガをすることがあります。
- 電動ドライバーは、ネジ山を破損する恐れが有り、お勧め出来ませんが、万一ご使用になるときは…
 - ・締め付け力調節機能付きドライバーをご使用ください（推奨）。
 - ・締め付け力を“弱め”に設定してご使用ください。
 - ・増し締めの際には電動ドライバーのご使用を避け、手動ドライバーをご使用ください。

3、日常のお手入れについて…

⚠ 注意

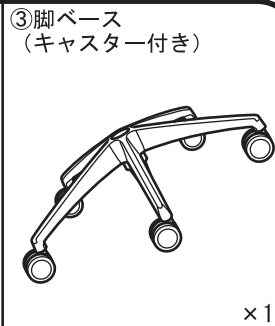
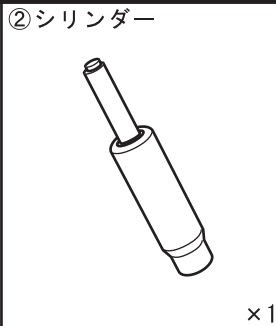
シンナー・ベンジン等の「溶剤」および「化学ぞうきん」はご使用にならないでください。
変色・変形の原因となります。

- 中性洗剤をうすめた液を柔らかい布に浸し、よく絞ったもので、汚れた部分を軽くたたくようにして拭き取ってください。その後きれいな水に浸し、軽く絞った布で中性洗剤をきれいに拭き取ってください。
- クロス張りの部分はブラシや硬い布で強くこすらないでください。
- 修理が必要な場合には、ただちにご使用をやめ、ご購入店までご連絡ください。

4、製品の仕様変更について…

- お買い求めいただいた製品は、改良のため予告なしに部品などの仕様を変更することがあります。また、上記に伴い、部品交換や修理の際には商品仕様の確認をさせて頂く事がございます。予めご了承ください。

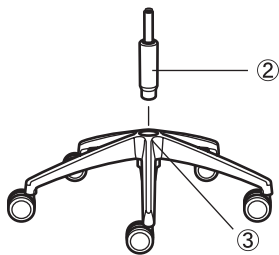
部品表



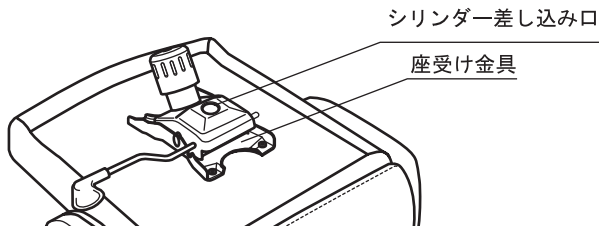
1 脚ベース、シリンダー、本体の取り付け

まず、図A-1のように③脚ベースを床に置き、上から②シリンダーを押し込むようにして取り付けます。
次に、図A-2のように①本体座面裏側の座受け金具のシリンダー差し込み口と、②シリンダーの上部先端を合わせて①本体を上から乗せます。→図A-3参照
組み上がりましたら、組み合わせた部分がしっかりと噛み合うように、座面にゆっくりと腰掛けてください。
全ての作業が終わりましたら、もう一度接合部の緩みがないかご確認ください。

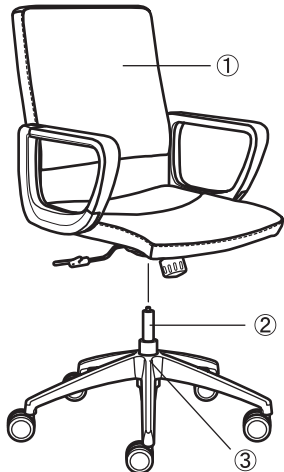
図A-1



図A-3



図A-2



図A-4

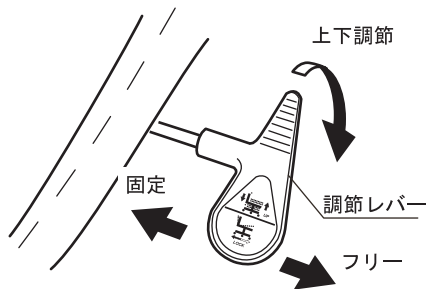


2 機能説明

《座面の高さ調節方法》

調節レバー先端を下に下げると座面の高さを調節できます。
→図B-1参照
座面を上げる時…少し腰を浮かせて調節レバー先端を下に下げます。
座面を下げる時…座った状態で調節レバー先端を下に下げます。

図B-1



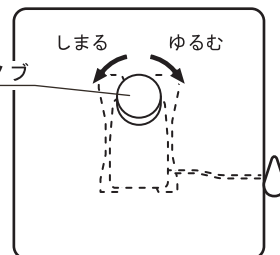
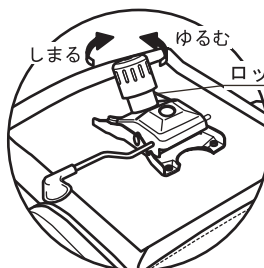
《ロックングの調節方法》

静座位(後ろにもたれない)の状態では調節レバーを外側に引くと背もたれ・座面が同時にロックングします。
(※途中、またはロックング状態では固定することができません)
静座位状態で調節レバーを内側に押しと背もたれ・座面が固定されます。
→図B-1参照
※商品出荷時は、ロックングが動かなかったり硬い事があります。
その場合は座面裏のロックング強度調整ノブを時計回りに緩めてください。逆に硬くしたい場合は反時計回りにしめてください。
→図B-2参照

座面を裏から見た図

図B-2

座面を真上から見た図



座面の前方などに座った場合には座面が動かない場合があります。必ず、座面の中央に腰をおろしてから調節レバーを操作してください。



《ご使用中のお願い》

この椅子は、深い角度にロックングする事ができます。通常の状態では、転倒する心配はございませんが、最も深くロックングした状態から更に過度に寄り掛かるなどして5本脚のベースの3.4本が浮いてしまうような状態になりますと転倒や、椅子自体の破損につながり非常に危険です。お客様自身でご注意くださいます様、お願い致します。